

# [ 重要 ]

## B120d-h, B120d, B110d ご使用にあたって

この度は、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

本製品をご使用いただくにあたり、一部注意事項があります。誠にお手数ではございますが、以下の内容をご確認の上、ご使用時には記載に基づき、然る対処を行っていただくようお願い申し上げます。また、本書は無くされないよう、大切に保管してください。

### ブレード収納ユニット(SIGMABLADE-M/H v2) ご使用時の注意

本製品の導入にあたり、**下記の該当する製品をご利用の場合は、本製品とEMカードとの連携機能強化の為、ファームウェアのアップデートが必要となります。**CPUブレードをブレード収納ユニットに実装する前に、この作業を行っていただかないと、ブレードサーバが正常に動作しませんので、必ず実施していただきますようお願いいたします。

＜対象製品＞

N8405-019/019A

EMカード（ファームウェアがRev9.xx以前のもの）

N8405-043

EMカード（ファームウェアがRev9.xx以前のもの）

ファームウェアのアップデートは、下記の弊社情報発信サイトよりダウンロードし、お客様にて実施いただく必要があります。なお、EMカードのファームウェアをアップデートする場合は、既設のサーバを停止させる必要はありません。

- － アクセス方法 － 「NECコーポレートサイト(<http://www.nec.co.jp/>)」 → 「サポート・ダウンロード」  
「サポート情報」 → 「PCサーバ/ブレードサーバ(Express5800シリーズ)」  
「サポート情報 [PCサーバ]」 → 「検索」 → 「型番・モデル名から探す」  
→ ご使用のEMカードの製品型番を入力し、「製品型番で検索」を実施  
→ 「ダウンロード」

製品に関する詳細情報は、弊社情報発信サイトにて公開の各製品のユーザーズガイドを参照してください。

- － アクセス方法 － 「NECコーポレートサイト(<http://www.nec.co.jp/>)」 → 「サポート・ダウンロード」  
「サポート情報」 → 「PCサーバ/ブレードサーバ(Express5800シリーズ)」  
「サポート情報 [PCサーバ]」 → 「検索」 → 「型番・モデル名から探す」  
→ ご使用のEMカードの製品型番を入力し、「製品型番で検索」を実施  
→ 「製品マニュアル(ユーザーズガイド)」



ユーザーズガイド ご利用時の注意

本製品に添付のEXPRESSBUILDERに格納されているユーザーズガイドをご利用される場合、以下の項目について読み替えてご利用ください。

■ B120d

章	節	読替内容				
-	全般	型番 誤) N8400-131Y/134Y/135Y 正) N8400-131Y/132Y/133Y/134Y/135Y				
4	1	仕様				
誤)		製品型番		N8400-131Y	N8400-134Y	N8400-135Y
		CPU	タイプ	インテル® Xeon® プロセッサー E5-2470	インテル® Xeon® プロセッサー E5-2430L	インテル® Xeon® プロセッサー E5-2403
			クロック	2.3GHz	Lv2.0GHz	1.8GHz
			コア数(C)/スロット数(T)	8C/16T	6C/12T	4C/4T
			3次キャッシュ	20MB	15MB	10MB
正)		製品型番		N8400-131Y	N8400-132Y	N8400-133Y
		CPU	タイプ	インテル® Xeon® プロセッサー E5-2470	インテル® Xeon® プロセッサー E5-2450	インテル® Xeon® プロセッサー E5-2430
			クロック	2.3GHz	2.1GHz	2.2GHz
			コア数(C)/スロット数(T)	8C/16T	8C/16T	6C/12T
			3次キャッシュ	20MB	20MB	15MB

ブレード用メザニンカード(タイプ1、タイプ2)  
ご使用時の注意

CPUブレードにブレード用メザニンカード(タイプ1、タイプ2)を実装している場合、ブレード収納ユニット(SIGMABLADE-M/H v2)のスイッチモジュールスロットに、対応するスイッチモジュールが実装されていないと、ブレード収納ユニットのSIGMABLADEモニターに以下エラーメッセージが表示され、CPUブレードの電源をONにできません。  
(SIGMABLADEモニターについては、ブレード収納ユニットのユーザーズガイドをご参照ください。)

エラーメッセージ	意味
SWMn IFmiss Alm	スイッチモジュール#n(N=1~8)インターフェースミスマッチ

該当するスイッチモジュールとCPUブレードのブレード用メザニンカード(タイプ1、タイプ2)との接続関係を確認し、インターフェースを一致させてください。

製品に関する詳細情報は、弊社情報発信サイトにて公開の各製品のユーザーズガイドを参照してください。

- ー アクセス方法 ー
- 「NECコーポレートサイト(<http://www.nec.co.jp/>)」→「サポート・ダウンロード」
  - 「サポート情報」→「PCサーバ/ブレードサーバ(Express5800シリーズ)」
  - 「サポート情報 [PCサーバ]」→「検索」→「型番・モデル名から探す」
  - ご使用の製品型番を入力し、「製品型番で検索」を実施
  - 「製品マニュアル(ユーザーズガイド)」

## N8415-003 EXPRESSBUILDER組込みキット ご使用時の注意

N8415-003 EXPRESSBUILDER組込みキットを BTO 以外で購入したときは、EXPRESSBUILDER のデータはコピーされていません。  
CPUブレードのメンテナンスガイドの

EXPRESSBUILDERの詳細 - EXPRESSBUILDER の動作環境を設定する

を参照して、EXPRESSBUILDERを内蔵フラッシュメモリへコピーしてください。

CPUブレードのメンテナンスガイドについては、CPUブレード添付のEXPRESSBUILDER格納のものか、弊社情報発信サイトにて公開しているものをご参照ください。

- － アクセス方法 － 「NECコーポレートサイト(<http://www.nec.co.jp/>)」 → 「サポート・ダウンロード」  
「サポート情報」 → 「PCサーバ/ブレードサーバ(Express5800シリーズ)」  
「サポート情報 [PCサーバ]」 → 「検索」 → 「型番・モデル名から探す」  
→ CPUブレードの製品型番を入力し、「製品型番で検索」を実施  
→ 「製品マニュアル(ユーザーズガイド)」 → 「メンテナンスガイド」

また、CPUブレードにEXPRESSBUILDER組込みキットを実装している場合において、EXPRESSBUILDER組込みキットから起動した状態から、iSCSIターゲットディスクへのOSインストールが行えません。

iSCSIターゲットディスクへのOSインストールをされる場合、CPUブレードに添付のEXPRESSBUILDER DVD媒体から起動し、OSインストールを行ってください。

本制限事項につきましては、後日システムBIOSのUpdateにて対応いたします。

システムBIOSのUpdateにつきましては、下記の弊社情報発信サイトよりダウンロードし、お客様にて実施いただく必要があります。

- － アクセス方法 － 「NECコーポレートサイト(<http://www.nec.co.jp/>)」 → 「サポート・ダウンロード」  
「サポート情報」 → 「PCサーバ/ブレードサーバ(Express5800シリーズ)」  
「サポート情報 [PCサーバ]」 → 「検索」 → 「型番・モデル名から探す」  
→ ご使用のCPUブレードの製品型番を入力し、「製品型番で検索」を実施  
→ 「ダウンロード」

## POSTの画面表示中のキー入力についての注意

POST(Power On Self-Test)の実行中、<Ctrl>キーと<H>キーのように複数のキーを押して、RAIDコントローラなどの専用ユーティリティを起動する場合、何もキーを押していない状態から、先に<Ctrl>キー等の『修飾キー(文字以外のキー)』を押しながら、<H>キー等の『文字キー』を押す操作を、専用ユーティリティが起動するまで繰り返してください。

専用ユーティリティが起動できなかった場合は、装置を再起動してPOSTの実行からやりなおしてください。

## N8403-059 RAIDコントローラキット 搭載装置 ご使用時の注意

N8403-059 RAIDコントローラキットを搭載した装置で N8404-003 増設HDDブレードAD106b をご使用になる場合で、かつ、システムBIOS設定において、増設HDDブレードの Option ROM Scan を [Enabled] に設定してご使用になる場合は、RAIDシステムコンフィグレーションユーティリティ(WebBIOS)を起動する際に、下記の手順に従ってください。

**重要** POST(Power On Self-Test)の実行中、N8403-059 RAIDコントローラと、増設HDDブレードに内蔵のRAIDコントローラの、それぞれのRAIDシステムコンフィグレーションユーティリティ(WebBIOS)を起動を促すメッセージが表示されます。N8403-059 RAIDコントローラキットのユーティリティ(WebBIOS)を起動した場合は、いずれのRAIDコントローラとも、RAIDシステムのコンフィグレーションを行うことができますが、増設HDDブレードに内蔵のRAIDコントローラのユーティリティを起動した場合は、N8403-059 RAIDコントローラキットのRAIDシステムのコンフィグレーションをすることができません。

1. POSTの実行中、下記の画面が表示されている間に、何もキーを押していない状態から、先に<Ctrl>キーを押しながら、<H>キーを押す操作を、ユーティリティ(WebBIOS)が起動するまで繰り返してください。

```
LSI MegaRAID SAS-MFI BIOS
Version X.XX.XX (Build Xxxxx XX, 20XX)
Copyright(c) 20XX LSI Corporation
HA -0 (Bus XXX Dev X) LSI MegaRAID SAS 9267-8i
FW package: XX.X.X-XXXX
...
Press <Ctrl><H> for WebBIOS
```

**重要**

4行目の表示が

“LSI MegaRAID SAS **9267**-8i”

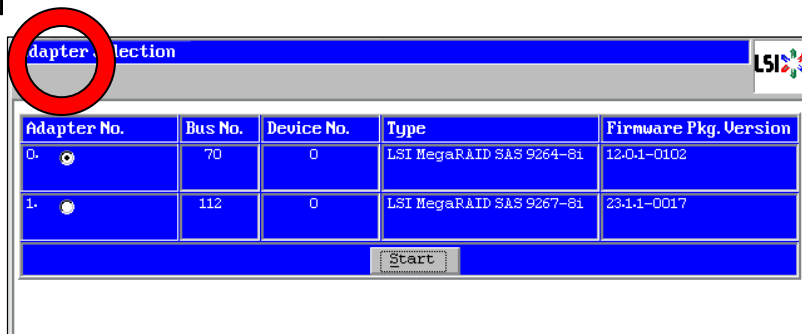
であることを確認してください。

別の表示の場合はキーを入力しないでください。

2. ユーティリティ(WebBIOS)が起動したら、正しいユーティリティ(WebBIOS)が起動していることを確認してください。誤ったユーティリティ(WebBIOS)が起動した場合、もしくはユーティリティ(WebBIOS)が起動できなかった場合は、装置を再起動してPOSTの実行からやりなおしてください。

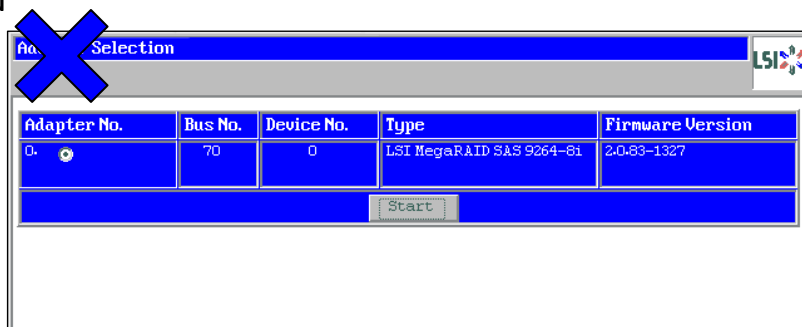
### 正しいユーティリティ(WebBIOS)起動画面

複数のRAIDコントローラが認識されます。  
“Type”欄が『LSI MegaRAID SAS 9267-8i』と表示されているアダプタが『N8403-059 RAIDコントローラ』で、もう一方が『増設HDDブレードに内蔵のRAIDコントローラ』です。  
コンフィグレーションの対象を選択して、[Start]をクリックします。  
その後の手順については、RAIDコントローラユーザズガイドを参照してください。



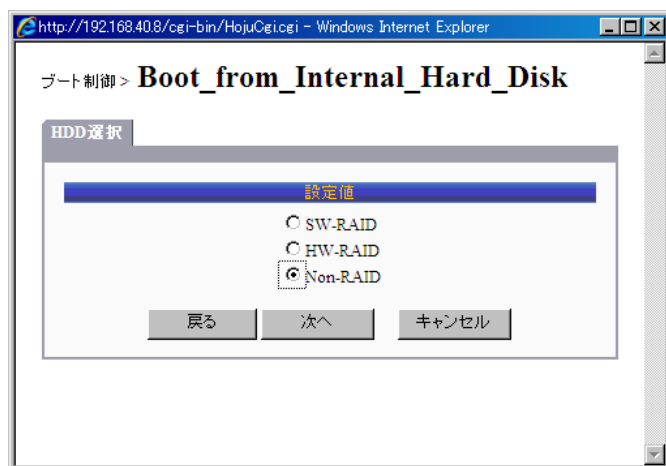
### 誤ったユーティリティ(WebBIOS)起動画面

RAIDコントローラが一つしか認識されません。  
この画面のように、RAIDコントローラが一つしか認識されていない場合は、装置を再起動してPOSTの実行からやりなおしてください。

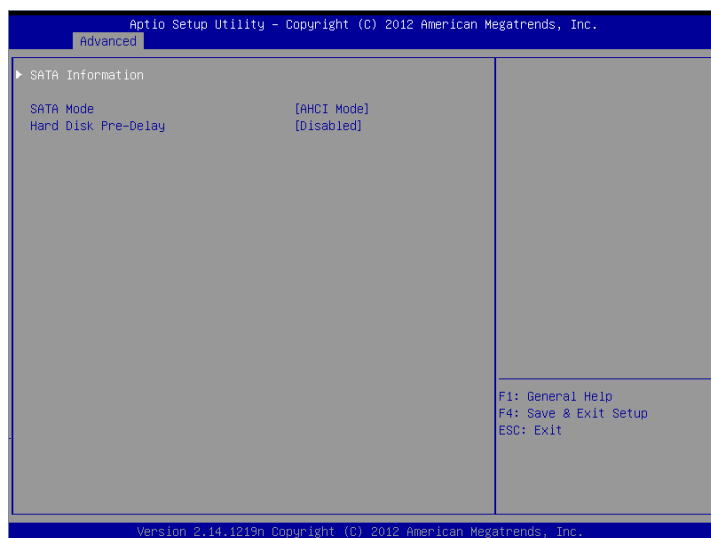


## EMカードによる「WEBコンソール」機能 ご使用時の注意

ブート制御機能を使用して、内蔵HDDのRAIDモード設定画面で「Non-RAID」を選択した場合、SATAの動作モードが自動的に「AHCIモード」に設定されますが、本製品ではSATA AHCIモードはサポートしておりません。



ブート制御機能を使用して、内蔵HDDのRAIDモード設定画面で「Non-RAID」を選択する場合は、選択設定後、BIOS Setupの「Advanced」→「Storage Configuration」→「SATA Mode」の項目を、「AHCI Mode」から「IDE Mode」に変更してください。



## EXPRESSSCOPEエンジン 3 リモートKVM機能 ご使用時の注意

本製品のEXPRESSSCOPEエンジン 3 リモートKVM機能をご使用頂くにあたり、下記のディスクアレイコントローラのWEB BIOS上でマウスによる操作ができません。

＜対象製品＞

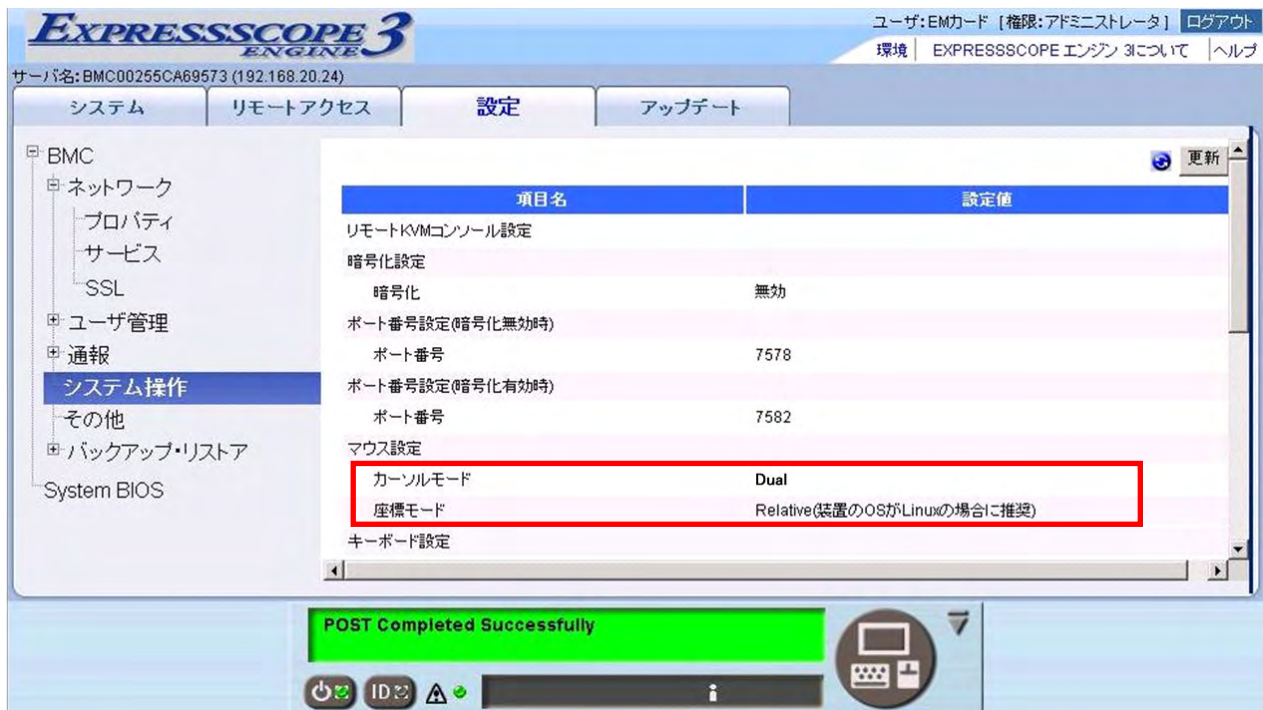
N8403-059

RAIDコントローラキット

N8404-003

増設HDDブレードAD106b

EXPRESSSCOPEエンジン 3 リモートKVM機能を使用して、WEB BIOSにてディスクアレイコントローラの設定を行う場合、EXPRESSSCOPEエンジン 3の「設定」タブを選択し、「BMC」→「システム操作」→「マウス設定」の「カーソルモード」を「Dual」に、「座標モード」を「Relative」に変更してください。



## EXPRESSSCOPEエンジン 3 における Diskの実装状態の表示について

本製品にSATA-Diskを搭載し、IDE Modelにてご使用される場合、EXPRESSSCOPEエンジン 3 からDiskの実装状態を正しく表示することができません。

設定方法については、ユーザーズガイド「2章 1. 9 内蔵ハードディスクによるRAIDシステム」をご覧ください。

CPUブレードのユーザーズガイドについては、CPUブレード添付のEXPRESSBUILDER格納のものか、弊社情報発信サイトにて公開しているものをご参照ください。

- ー アクセス方法 ー
- 「NECコーポレートサイト(<http://www.nec.co.jp/>)」→「サポート・ダウンロード」
  - 「サポート情報」→「PCサーバ/ブレードサーバ(Express5800シリーズ)」
  - 「サポート情報 [PCサーバ]」→「検索」→「型番・モデル名から探す」
  - CPUブレードの製品型番を入力し、「製品型番で検索」を実施
  - 「製品マニュアル(ユーザーズガイド)」

## EXPRESSSCOPEエンジン 3 マネージメント専用LAN DHCP設定の注意

本製品のEXPRESSSCOPEエンジン3 マネージメント専用LAN設定の変更ツール(ESMPRO、Webコンソール、オフラインツール)を用いて、DHCP設定を「Disabled」に設定しようとする、変更作業時 または変更後に、以下の現象が発生する場合があります。

- ・DHCP設定を「Disabled」に設定しようとする、変更ツールのエラーが表示され、設定が反映されない。
- ・DHCP設定を「Disabled」に設定した後、CPUブレードをブレード収納ユニットから抜く、またはブレード収納ユニットへの給電を停止すると、DHCP設定が「Enabled」に戻る。

**EXPRESSSCOPEエンジン3 マネージメント専用LAN の DHCP設定は、デフォルトの「Enabled」のままでご使用下さい。**

EXPRESSSCOPEエンジン3 マネージメント専用LAN に割り当てられるIPアドレスを、CPUブレードのスロットごとに個別に指定したい場合は、EMカードのユーザーズガイドの

環境設定 - 設定の編集 - EMカードネットワーク (DHCPベースIPアドレスによる簡単設定、ブレードスロットnのIPアドレス)
--

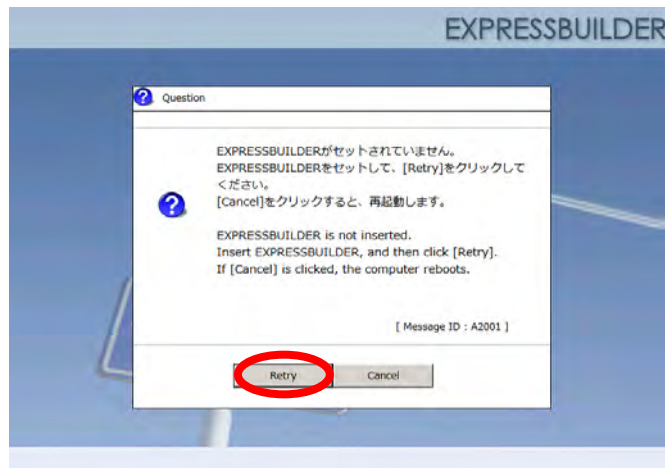
を参照して、ブレードスロットごとにIPアドレスを設定してください。

EMカードのユーザーズガイドについては、EMカード添付のものか、弊社情報発信サイトにて公開しているものをご参照ください。

- － アクセス方法 －
- 「NECコーポレートサイト(<http://www.nec.co.jp/>)」 → 「サポート・ダウンロード」
  - 「サポート情報」 → 「PCサーバ/ブレードサーバ(Express5800シリーズ)」
  - 「サポート情報 [PCサーバ]」 → 「検索」 → 「型番・モデル名から探す」
  - ご使用のEMカードの製品型番を入力し、「製品型番で検索」を実施
  - 「製品マニュアル(ユーザーズガイド)」

## EXPRESSBUILDER ご使用時の注意

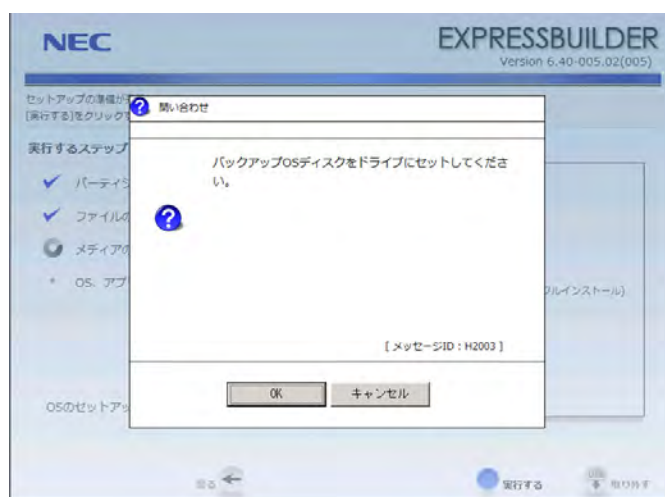
本製品を SIGMABLADE-M(N8405-016B/016C) に実装してご使用になる場合、SIGMABLADE-M に内蔵のDVDドライブから EXPRESSBUILDER DVDを起動し「OS installation」を選択した際に、下記のメッセージが表示される場合があります。



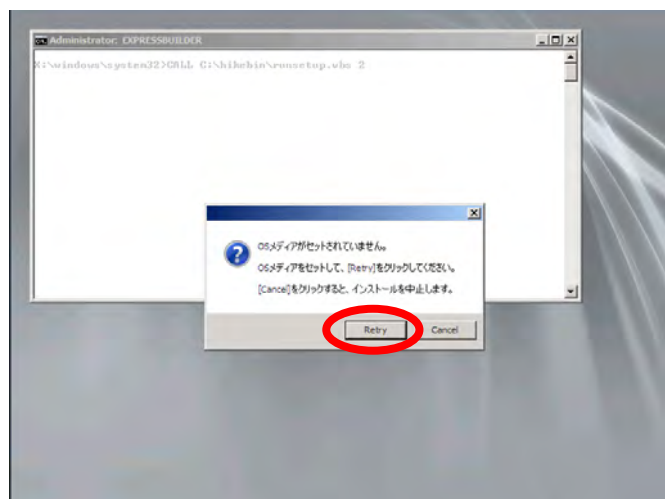
この場合は、SIGMABLADE-M に内蔵のDVDドライブを別の Bladeに選択し、再度インストール対象の Bladeに選択し直した後に、Retryボタンをクリックしてインストールを続行してください。

DVDドライブを再選択後、EXPRESSBUILDERの読み込みに時間がかかる場合がありますので、Retryボタンをクリックしても画面が先に進まない場合は、10秒ほど待ってから再度 Retryボタンをクリックするようにしてください。

また、本機能を用いてOSのセットアップをする場合、下記のメッセージに従いバックアップOSディスクをドライブにセットして作業を進めた時に、次のようなメッセージが表示されることがあります。



この場合も、SIGMABLADE-M に内蔵のDVDドライブを別の Bladeに選択し、再度インストール対象の Bladeに選択し直した後に、Retryボタンをクリックしてインストールを続行してください。



なお、リモートメディアの機能を用いてインストールを実施される場合は、本現象は発生しません。



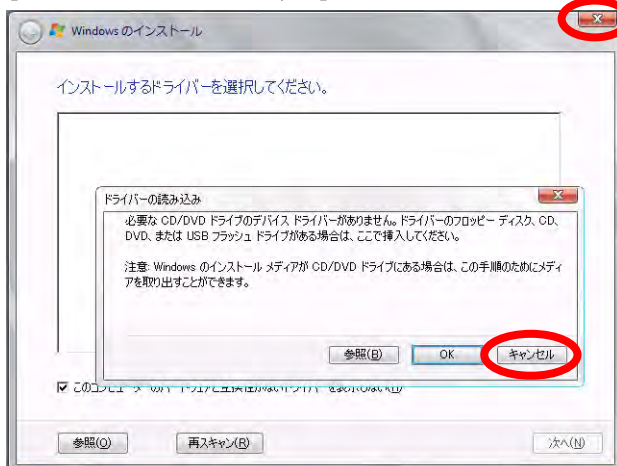
## OS標準のインストーラを使ったセットアップをする場合の注意

本製品を SIGMABLADE-M(N8405-016B/016C) に実装してご使用になる場合、SIGMABLADE-M に内蔵のDVDドライブを使用してOS標準のインストーラを使ったセットアップをする際に、DVDドライブが認識できなくなった旨の警告が表示されることがあります。その場合、表示画面からいったんインストールをキャンセルし、前の画面に戻した後、SIGMABLADE-M に内蔵のDVDドライブを別のBladeに選択し、再度インストール対象のBladeに選択し直した後に、下記の手順に従ってインストールを続行してください。

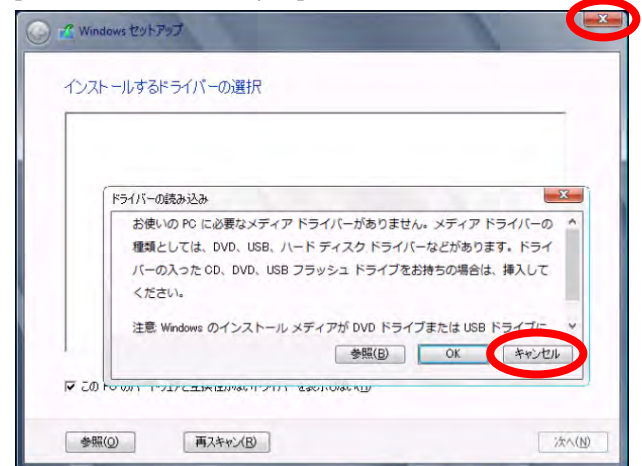
なお、リモートメディアの機能を用いてインストールを実施される場合は、本現象は発生しません。

3. DVDドライブのドライバーが無いメッセージが表示された場合、ポップアップウィンドウの「キャンセル」をクリックして、ポップアップウィンドウを閉じた後、“Windowsのインストール” “Windowsセットアップ”ウィンドウの右上の[X]を押してください。

【WindowsServer2008R2の場合】

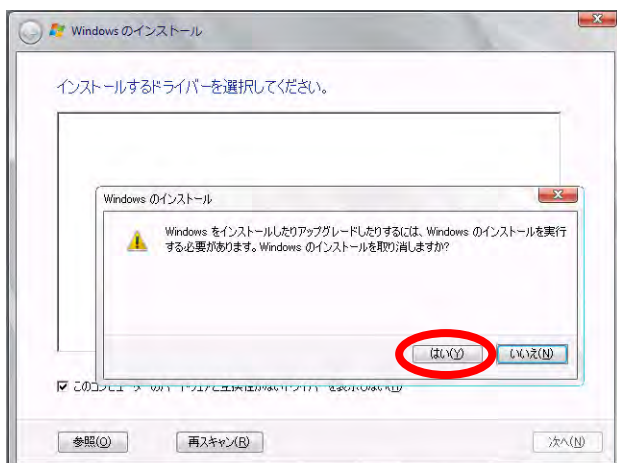


【WindowsServer2012の場合】

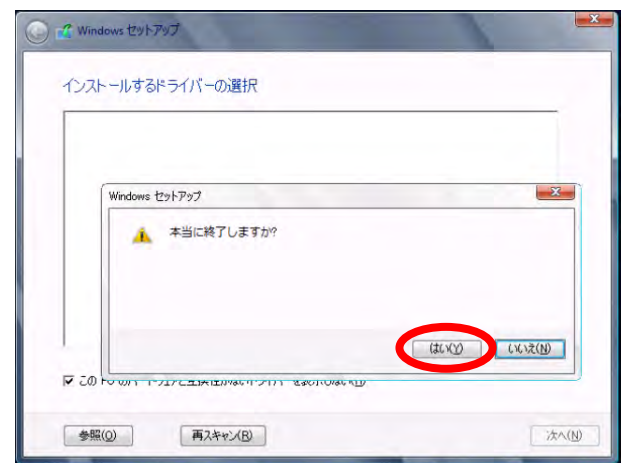


4. インストールをキャンセルするポップアップウィンドウが表示されますので、「はい」をクリックしてください。

【WindowsServer2008R2の場合】



【WindowsServer2012の場合】



5. インストールの最初の画面が表示されます。  
ここで、SIGMABLADE-MIに内蔵DVDドライブを別のBladeに選択し、再度インストール対象のBladeに選択し直します。

[WindowsServer2008R2の場合]



[WindowsServer2012の場合]



6. その後、通常手順でインストール作業を続行すると、警告メッセージは表示されず、正常にインストール行程が進みます。

---

## Windows Server 2008 ご使用時の注意

---

メンテナンスガイドの、“2章 便利な機能”の“3. 電力制御機能”の“3.1 Windows Server 2008 使用時の留意点”において、本製品の電力制御のためにイベントビューアに登録されるイベントについて記載があります。  
メンテナンスガイド中は「イベントID:7」のみ記載されておりますが、「イベントID:37」が登録される場合もあります。いずれも本製品で電力制御しているために登録されるイベントログであり、正常な動作です。

## Red Hat Enterprise Linux 6 ご使用時の注意

### Red Hat Enterprise Linux 6 における、消費電力制御に起因するメッセージについて

Red Hat Enterprise Linux 6 において、syslogに以下のメッセージが出力される場合がありますが、実際に装置の障害が発生している訳ではありません。

このメッセージは、消費電力の上限に達したことを示すメッセージです。

本製品は、ブレード収納ユニットのEMカードからの指示により消費電力の制御を行っており、各CPUブレードの消費電力によって、動的に電力上限を制御しています。消費電力が上限に達すると、自動で上限値を変更しますので、動作に影響はありません。

EMカードの消費電力制御の設定については、EMカードのユーザーズガイドを参照ください。

#### ■ メッセージ例1

```
kernel: CPU6: Core power limit notification (total events = 196670)
kernel: CPU21: Package power limit notification (total events = 196453)
kernel: CPU17: Core power limit normal
kernel: CPU23: Package power limit normal
mcelog: Processor 3 below trip temperature. Throttling disabled
```

OSの認識する論理CPU数分繰り返し出力されます。

#### ■ メッセージ例2

```
[Hardware Error]: Machine check events logged
```

実際の装置障害と、電力制御動作の際に発生するメッセージは、MCE(Machine check events)のログ(/var/log/mcelog)の内容を確認することで、区別できます。

/var/log/messagesに“Hardware Error”を含むメッセージが記録された時刻近辺(5分以内)で、MCEのログに、以下の例と同様の、“THERMAL EVENT”を含む8行分の出力のみが繰り返し記録されていた場合、この“Hardware Error”は、OSが装置から電力削減動作の要求を受け付けた際に記録するもので、装置障害を示すものではありません。

(例)

```
MCE 0
CPU 23 THERMAL EVENT TSC 3559f8b98fe2
TIME 1331221119 Fri Mar 9 00:38:39 2012
Processor 23 below trip temperature. Throttling disabled
STATUS 40000000882e0800 MCGSTATUS 0
MCGCAP 1000c14 APICID f SOCKETID 0
CPUID Vendor Intel Family 6 Model 45
Hardware event. This is not a software error.
```

また、Linux サービスセットをご購入のお客様は、詳細をNEC サポートポータルに公開しておりますので、「[RHEL6]注意・制限事項」をご確認ください。

なお、本製品の電力制御モードを、デフォルトの「Dynamicモード」から、「Staticモード」に変更する事で、メッセージの出力頻度を減らす事ができます。

電力制御モードは、EMカードから設定します。

#### ■ SIGMABLADE-M(N8405-016/016A/016B/016C)搭載の場合

N8405-019/19A EMカード ユーザーズガイドの「コマンドラインコンソール機能の使い方」-「コマンドリファレンス」項「srvpwrmode」を参照し設定してください。

#### ■ SIGMABLADE-Hv2(N8405-040/040A)搭載の場合

N8405-043 EMカード ユーザーズガイドの「コマンドラインコンソール機能の使い方」-「コマンド仕様」-「CPUブレード管理コマンド」項「CPUブレードの電力制御モードの設定」および「CPUブレードの電力制御モードを表示」を参照し設定してください。

■ 本書の内容に不明点がありました場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

連絡先:	ファーストコンタクトセンター
TEL:	03-3455-5800 (代表)
受付時間:	9:00~12:00 13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日を除く)
※番号をお間違えにならないようお確かめのうえご連絡ください。	

# [ Important Information ]

## NEC Express5800/B120d-h, B120d, B110d

Thank you for selecting an NEC Express5800 series server.

This document contains important information about using your new server. Please read all the information below and observe caution when using the product. Failure to follow the instructions may cause a defect in your system.  
Take care to retain this document for future reference.

### Notes on using the Blade Enclosure (SIGMABLADE-M/H v2)

When using the following products with this CPU Blade in a Blade Enclosure (SIGMABLADE-M/H v2), the firmware of the EM card needs to be updated to enhance the linkage function between the EM card and the CPU Blade.  
If the firmware of the EM card is not updated, the CPU Blade will not function properly.

See the table below for EM cards that require a firmware update.

Product Code	Firmware revisions that require an update
N8405-019/019A (for SIGMABLADE-M)	Rev 9.xx or earlier
N8405-043 (for SIGMABLADE-H v2)	Rev 9.xx or earlier

For EM card updates, download the firmware from the following site or contact your service representative.

- Web access -

1. Access the NEC Express5800 Server Series download page.  
[<http://www.nec.com/global/prod/express/download/index.html>]
2. Select [Server Options] – [EM Card [N8405-xxx]].

It is not necessary to stop other servers while updating the firmware.

### Notes on using the Mezzanine Card (Type1 , Type2)

When installed mezzanine card (Type1, Type2) on CPU blade, please be careful about below.

When a right switch module isn't mounted on the switch module slot of blade enclosure, an error message is shown to the SIGMABLADE monitor of blade enclosure.

Error message	Meaning
SWMn IFmiss Alm	Switch module n (n=1-8) interface mismatch

The CPU blade which was mounted on an indicated slot can't power on in that case.

Check connection between the relevant switch module and the CPU blades to make sure the coincidence of interface.

## Regulatory Notices

### Turkish RoHS information relevant for Turkish market

EEE Yönetmeliğine Uygundur

### Vietnam RoHS information relevant for Vietnam market

Complying with "CIRCULAR, No.30/2011/TT-BCT (Hanoi, August 10 2011), Temporary regulations on content limit for certain hazardous substances in electrical products"

### Ukraine RoHS

<p>Declaration of Conformity</p> <p>with the requirements of Technical Regulation on the Restriction Of the use of certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment</p> <p>(adopted by Order №1057 of Cabinet of Ministers of Ukraine)</p> <p>The Product is in conformity with the requirements of Technical Regulation on the Restriction Of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment (TR on RoHS).</p> <p>The content of hazardous substance with the exemption of the applications listed in the Annex №2 of TR on RoHS:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Lead (Pb) – not over 0,1wt % or 1000wt ppm;</li> <li>2. Cadmium (Cd) – not over 0,01wt % or 100wt ppm;</li> <li>3. Mercury (Hg) – not over 0,1wt % or 1000wt ppm;</li> <li>4. Hexavalent chromium (Cr<sup>6+</sup>) – not over 0,1wt % or 1000wt ppm;</li> <li>5. Polybrominated biphenyls (PBBs) – not over 0,1wt % or 1000wt ppm;</li> <li>6. Polybrominated diphenyl ethers (PBDEs) – not over 0,1wt % or 1000wt ppm.</li> </ol>
---

<p>Декларація про Відповідність</p> <p>Вимогам Технічного Регламенту Обмеження Використання деяких Небезпечних Речовин в електричному та електронному обладнанні</p> <p>(затвердженого Постановою №1057 Кабінету Міністрів України)</p> <p>Виріб відповідає вимогам Технічного Регламенту Обмеження Використання деяких Небезпечних Речовин в електричному та електронному обладнанні (ТР ОБНР).</p> <p>Вміст небезпечних речовин у випадках, не обумовлених в Додатку №2 ТР ОБНР, :</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. свинець(Pb) – не перевищує 0,1 % ваги речовини або в концентрації до 1000 частин на мільйон;</li> <li>2. кадмій (Cd)– не перевищує 0,01 % ваги речовини або в концентрації до 100 частин на мільйон;</li> <li>3. ртуть(Hg) – не перевищує 0,1 % ваги речовини або в концентрації до 1000 частин на мільйон;</li> <li>4. шестивалентний хром (Cr<sup>6+</sup>) – не перевищує 0,1 % ваги речовини або в концентрації до 1000 частин на мільйон;</li> <li>5. полібромбіфеноли (PBB) – не перевищує 0,1% ваги речовини або в концентрації до 1000 частин на мільйон;</li> <li>6. полібромдифенілові ефіри (PBDE) – не перевищує 0,1 % ваги речовини або в концентрації до 1000 частин на мільйон.</li> </ol>
--

<p>Декларация о Соответствии</p> <p>Требованиям Технического Регламента об Ограничении Использования некоторых Вредных Веществ в электрическом и электронном оборудовании</p> <p>(утверждённого Постановлением №1057 Кабинета Министров Украины)</p> <p>Изделие соответствует требованиям Технического Регламента об Ограничении Использования некоторых Вредных Веществ в электрическом и электронном оборудовании (ТР ОИВВ).</p> <p>Содержание вредных веществ в случаях, не предусмотренных Дополнением №2 ТР ОИВВ:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. свинец (Pb) – не превышает 0,1 % веса вещества или в концентрации до 1000 миллионных частей;</li> <li>2. кадмий (Cd) – не превышает 0,01 % веса вещества или в концентрации до 100 миллионных частей;</li> <li>3. ртуть (Hg) – не превышает 0,1 % веса вещества или в концентрации до 1000 миллионных частей;</li> <li>4. шестивалентный хром (Cr<sup>6+</sup>)– не превышает 0,1 % веса вещества или в концентрации до 1000 миллионных частей;</li> <li>5. полибромбифенолы (PBB) – не превышает 0,1 % веса вещества или в концентрации до 1000 миллионных частей;</li> <li>6. полибромдифеноловые эфиры (PBDE) – не превышает 0,1 % веса вещества или в концентрации до 1000 миллионных частей.</li> </ol>
---

## Notes on using the User's Guide

When using a user's guide, please paraphrase about the following table.

■ for B120d commonness

chapter	section	paraphrased contents																																																															
-	All	Model number  Wrong :        N8400-131F/134F/135F  Correct :       N8400-131F/132F/133F/134F/135F																																																															
4	1	Specifications  Wrong : <table border="1"><tr><td colspan="2">Product model</td><td>N8400-131F</td><td>N8400-134F</td><td colspan="2">N8400-135F</td></tr><tr><td rowspan="4">CPU</td><td>Type</td><td>Intel® Xeon® Processor E5-2470</td><td>Intel® Xeon® Processor E5-2430L</td><td colspan="2">Intel® Xeon® Processor E5-2403</td></tr><tr><td>Clock</td><td>2.3GHz</td><td>Lv2.0GHz</td><td colspan="2">1.8GHz</td></tr><tr><td>CORE / thread</td><td>8C/16T</td><td>6C/12T</td><td colspan="2">4C/4T</td></tr><tr><td>3rd cache</td><td>20MB</td><td>15MB</td><td colspan="2">10MB</td></tr></table> Correct : <table border="1"><tr><td colspan="2">Product model</td><td>N8400-131F</td><td>N8400-132F</td><td>N8400-133F</td><td>N8400-134F</td><td>N8400-135F</td></tr><tr><td rowspan="4">CPU</td><td>Type</td><td>Intel® Xeon® Processor E5-2470</td><td>Intel® Xeon® Processor E5-2450</td><td>Intel® Xeon® Processor E5-2430</td><td>Intel® Xeon® Processor E5-2430L</td><td>Intel® Xeon® Processor E5-2403</td></tr><tr><td>Clock</td><td>2.3GHz</td><td>2.1GHz</td><td>2.2GHz</td><td>Lv2.0GHz</td><td>1.8GHz</td></tr><tr><td>CORE / thread</td><td>8C/16T</td><td>8C/16T</td><td>6C/12T</td><td>6C/12T</td><td>4C/4T</td></tr><tr><td>3rd cache</td><td>20MB</td><td>20MB</td><td>15MB</td><td>15MB</td><td>10MB</td></tr></table>					Product model		N8400-131F	N8400-134F	N8400-135F		CPU	Type	Intel® Xeon® Processor E5-2470	Intel® Xeon® Processor E5-2430L	Intel® Xeon® Processor E5-2403		Clock	2.3GHz	Lv2.0GHz	1.8GHz		CORE / thread	8C/16T	6C/12T	4C/4T		3rd cache	20MB	15MB	10MB		Product model		N8400-131F	N8400-132F	N8400-133F	N8400-134F	N8400-135F	CPU	Type	Intel® Xeon® Processor E5-2470	Intel® Xeon® Processor E5-2450	Intel® Xeon® Processor E5-2430	Intel® Xeon® Processor E5-2430L	Intel® Xeon® Processor E5-2403	Clock	2.3GHz	2.1GHz	2.2GHz	Lv2.0GHz	1.8GHz	CORE / thread	8C/16T	8C/16T	6C/12T	6C/12T	4C/4T	3rd cache	20MB	20MB	15MB	15MB	10MB
Product model		N8400-131F	N8400-134F	N8400-135F																																																													
CPU	Type	Intel® Xeon® Processor E5-2470	Intel® Xeon® Processor E5-2430L	Intel® Xeon® Processor E5-2403																																																													
	Clock	2.3GHz	Lv2.0GHz	1.8GHz																																																													
	CORE / thread	8C/16T	6C/12T	4C/4T																																																													
	3rd cache	20MB	15MB	10MB																																																													
Product model		N8400-131F	N8400-132F	N8400-133F	N8400-134F	N8400-135F																																																											
CPU	Type	Intel® Xeon® Processor E5-2470	Intel® Xeon® Processor E5-2450	Intel® Xeon® Processor E5-2430	Intel® Xeon® Processor E5-2430L	Intel® Xeon® Processor E5-2403																																																											
	Clock	2.3GHz	2.1GHz	2.2GHz	Lv2.0GHz	1.8GHz																																																											
	CORE / thread	8C/16T	8C/16T	6C/12T	6C/12T	4C/4T																																																											
	3rd cache	20MB	20MB	15MB	15MB	10MB																																																											

## Notes on using N8415-003F Internal Flash Memory

If your N8415-003F Internal Flash Memory is not a BTO (Built-To-Order) product, the data of EXPRESSBUILDER is not copied into it.

In this case, please refer to the section of "Details of EXPRESSBUILDER - Configure EXPRESSBUILDER Settings" of in the Maintenance Guide of the CPU Blade, and copy the data of EXPRESSBUILDER into the Internal Flash Memory.

In case of CPU Blade with an N8415-003F Internal Flash Memory installed, the operating system cannot be installed onto an iSCSI target disk when EXPRESSBUILDER is started from the N8415-003F Internal Flash Memory. To install the operating system, start from the EXPRESSBUILDER DVD provided with the CPU Blade and install the operating system to the iSCSI target disk.

This issue described above is planned to be resolved with an update for the system BIOS, which will be released in the near future.

When the update for the system BIOS has been available, download the firmware from the following site or contact your service representative.

- Web access -

1. Access the NEC Express5800 Server Series download page.  
[<http://www.nec.com/global/prod/express/download/index.html>]
2. Input the model name of the CPU Blade in the search box and click the search button.
3. Select the product name of the CPU Blade from the search results.

## Notes on starting a dedicated utility when POST is running

To start a dedicated utility for the RAID controller and so on when POST is running, do as follows.

1. Make sure that you do not press any key before beginning this work.
2. Press a "Modifier Key" (such as <ctrl> key) first, and hold down the "Modifier Key" and press a "Character key" (such as <H> key) with the "Modifier Key" pressed repeatedly until the dedicated utility starts.

If you have failed to start the dedicated utility, please restart the server and rerun POST to try again.

## Notes on using N8403-059F RAID Controller kit (512MB, RAID 0/1)

To start the RAID system configuration utility (WebBIOS) when you use "Storage and I/O Blade" on the server with "N8403-059F RAID Controller kit (512MB, RAID 0/1)" installed and "Option ROM Scan" of "Storage and I/O Blade" is set to "Enabled" in the system BIOS, do as follows.

1. When POST is running and the following screen is displayed, do as follows.

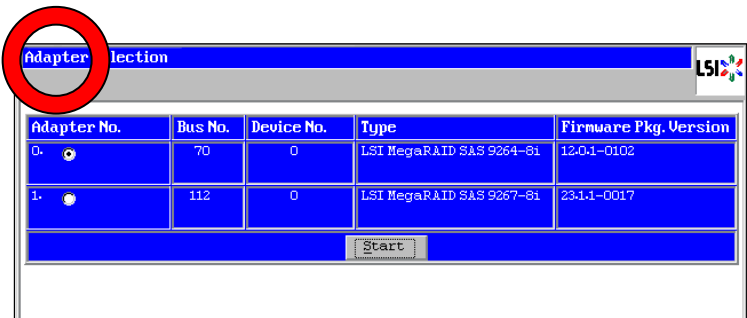
```
LSI MegaRAID SAS-MFI BIOS
Version X.XX.XX (Build Xxxxx XX, 20XX)
Copyright(c) 20XX LSI Corporation
HA -0 (Bus XXX Dev X) LSI MegaRAID SAS 9267-8i
FW package: XX.X.X-XXXX
...
Press <Ctrl><H> for WebBIOS
```

Please confirm that  
“LSI MegaRAID SAS **9267**-8i”  
is displayed in the 4<sup>th</sup> row. If any different information  
is displayed, do not enter any key.

2. Make sure that you do not press any key before beginning this work.
3. Press "<CTRL> Key" first, and then press "<H> Key" with "<Ctrl> Key" pressed repeatedly until the utility (WebBIOS) starts.
4. When the utility (WebBIOS) has started, confirm whether the utility (WebBIOS) is correct or not.  
If a wrong utility (WebBIOS) has started or the correct utility (WebBIOS) has failed to start, please restart the server and rerun POST to try again.

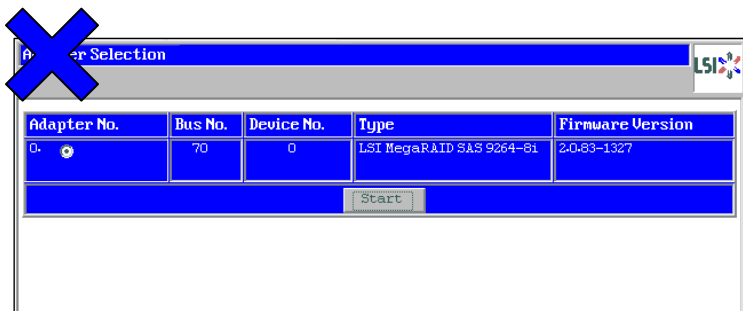
### Correct utility

Two RAID controllers are recognized.  
“LSI MegaRAID SAS 9267-8i” indicates  
"N8403-059F RAID Controller kit",  
and the other indicates the RAID controller  
of "Storage and I/O Blade AD106b".  
Select a configuration type, and click [Start].  
For the steps to proceed, refer to the user's  
guide.



### Wrong utility

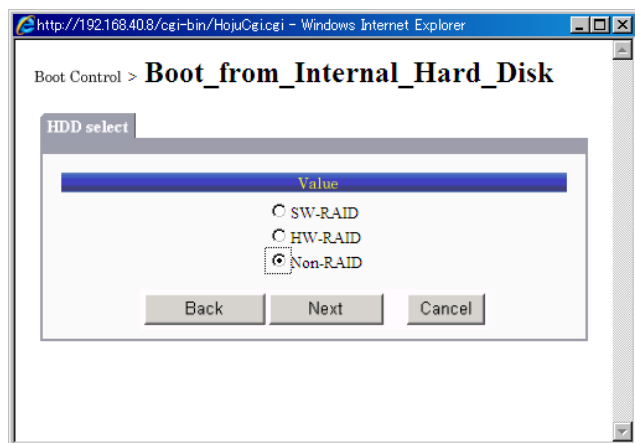
Only one RAID controller is recognized.  
In this case, please restart the server  
and rerun POST to try again.





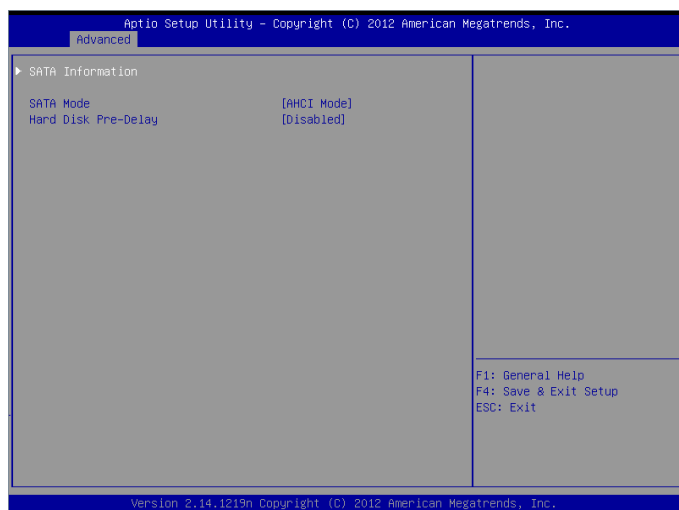
## Notes on using the Web Console feature of the EM Card

When “Non-RAID” is selected on the RAID mode settings screen of the internal hard disk drive using the Boot Control function, SATA mode is automatically set to “AHCI mode”, even though SATA AHCI mode is not supported by Express5800/B120d-h, B120d and B110d.



Please change the following setting after selecting “Non-RAID”:

In the BIOS Setup Utility, select [Advanced] → [Storage Configuration] and change the [SATA Mode] setting from "AHCI Mode" to "IDE Mode".

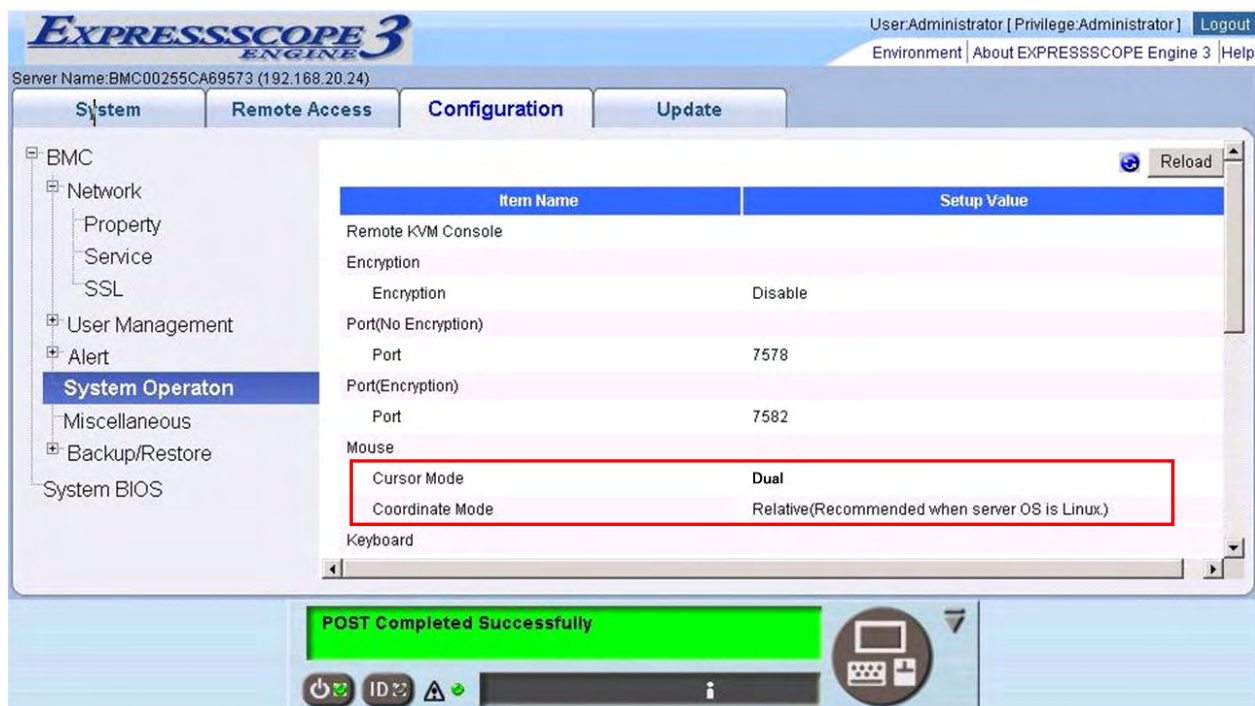


## Notes on using the Remote KVM Feature of EXPRESSSCOPE ENGINE 3

In the case where one of the following disk array controllers is used, the mouse function (mouse pointer displayed on the screen) of the WebBIOS cannot be used when using the Remote KVM of the EXPRESSSCOPE ENGINE 3.

Product Code	Product Name
N8403-059F	RAID Controller kit (512MB, RAID 0/1)
N8404-003F	Storage and I/O blade AD106b

To set up a disk array controller in WebBIOS with the Remote KVM, please select the "Configuration" tab of the EXPRESSSCOPE ENGINE 3 screen, and select "System Operation", and then change "Cursor Mode" to "Dual", and "Coordinate Mode" to "Relative" in "Mouse."



## Notes on viewing hard disk status from EXPRESSSCOPE Engine 3

When you use this product in IDE mode with a SATA hard disk mounted, the hard disk status cannot be viewed properly from EXPRESSSCOPE Engine 3.

Please refer to "Chapter 2 Preparations - 1.9 Use of Internal Hard Disk Drives in the RAID System" in the user's guide of the product to set it up.

---

## Notes on DHCP setting of Management LAN Port of EXPRESSSCOPE ENGINE 3

---

DHCP setting of the management LAN of EXPRESSSCOPE Engine 3 is set to "Enabled" by the factory default. To use this product, please do not change the default setting.

If you have made an attempt to change the DHCP setting to "Disabled" with a setting tool for the management LAN port (ESMPRO, Web console, Offline tool), one or more of the following issues may occur when making the change or after the change.

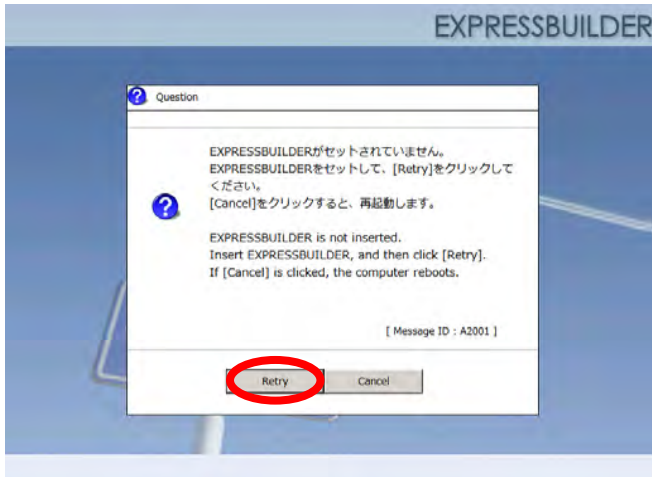
- An error is indicated by the setting tool in use, and the DHCP setting is not changed to "Disabled."
- When removing the CPU Blade from the blade enclosure or stopping supplying power to the blade enclosure after changing the DHCP setting to "Disabled", the DHCP setting returns to "Enabled."

If you would like to specify an IP address assigned to the management LAN to each slot of the CPU blade, please refer to the section of "Configuration—Edit Configuration – EM Card Network" of the user's guide of the EM card.

For the user's guide of the EM card, please refer to the user's guide provided with the EM card or you can find on our website: *NEC Express5800 Server Series download page*.

## Notes on using EXPRESSBUILDER

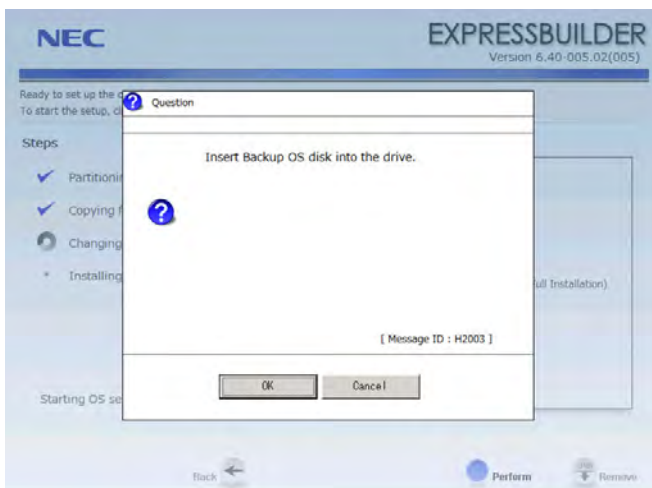
When you start the EXPRESSBUILDER from the DVD-ROM Drive built-in the Blade Enclosure (SIGMABLADE-M, Product code: N8405-016BF) and then select "OS installation", with this product mounted in the Blade Enclosure, the following message may appear.



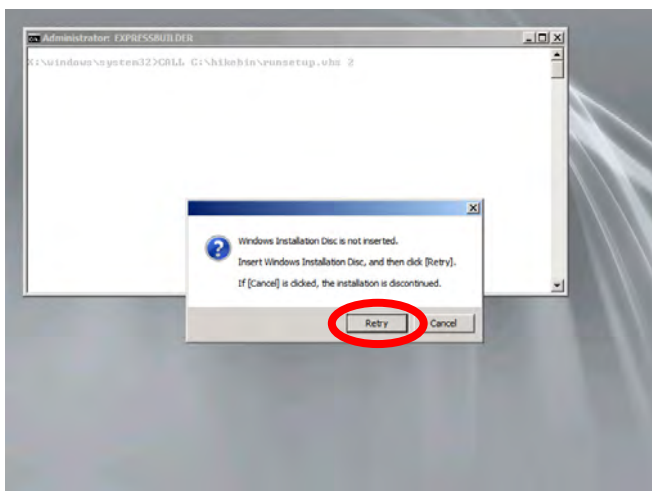
If the message appears, change the selection of a CPU blade that uses the DVD-ROM Drive built-in the Blade Enclosure from the currently selected CPU blade to another one, and then back to the previously selected CPU blade which is set for the installation source. After that, click "Retry" button to continue the installation.

Loading the EXPRESSBUILDER after changing back to the previous selection may take longer than expected. If the screen does not change after clicking "Retry" button to proceed, please wait for approximately 10 seconds and click "Retry" button again.

When you set up the OS by using the EXPRESSBUILDER, with Backup OS disk inserted into the drive as instructed in the message below, the message in the next page may appear.



In that case, also, change the selection of a CPU blade that uses the DVD-ROM Drive built-in the Blade Enclosure from the current CPU blade to another one and then back to the previously selected CPU blade which is set for the installation source. After that, click "Retry" button to continue the installation.



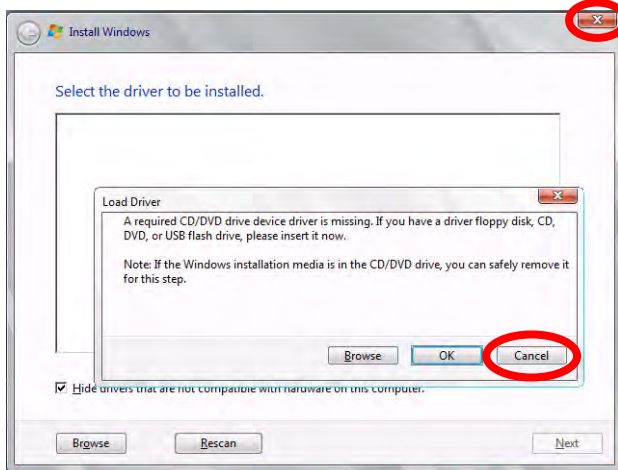
When installing the OS with remote media function, this symptom will not occur.

## Notes on setup with OS standard installer

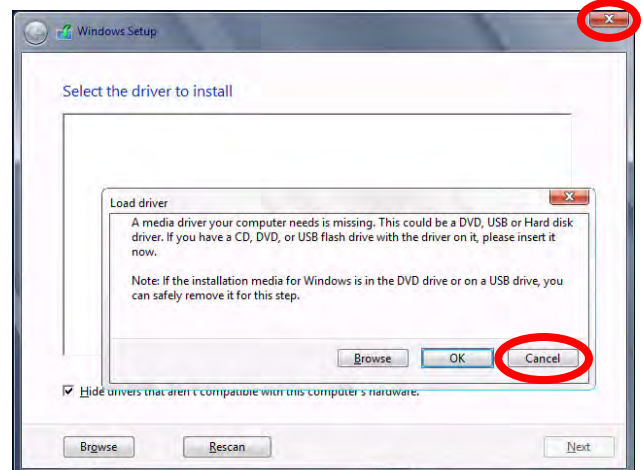
When you set up with OS standard installer by using N8405-016BF (the Blade Enclosure) built-in DVD-ROM Drive, there is a possibility that the following warning window that shows a device driver is missing opens. In this case, please continue the setup according to the following procedure.

1. Press the "Cancel" button, and press the "x" button at upper right corner of the window.

### [In the case of Windows Server 2008 R2]

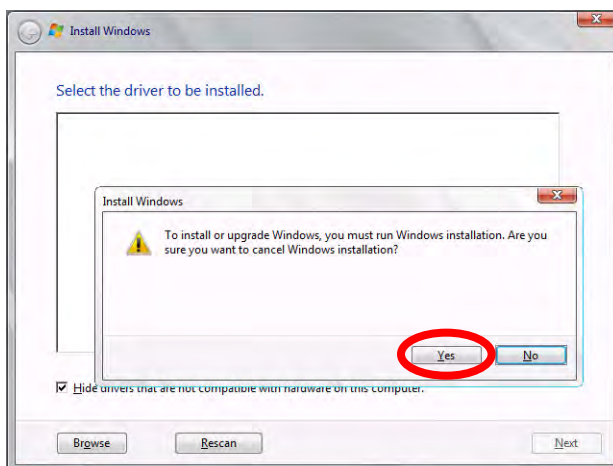


### [In the case of Windows Server 2012]

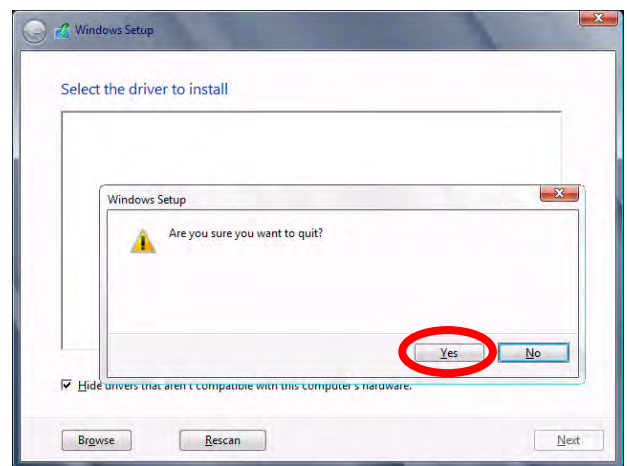


2. The confirmation pop-up window opens, and then press "Yes" button.

### [In the case of Windows Server 2008 R2]

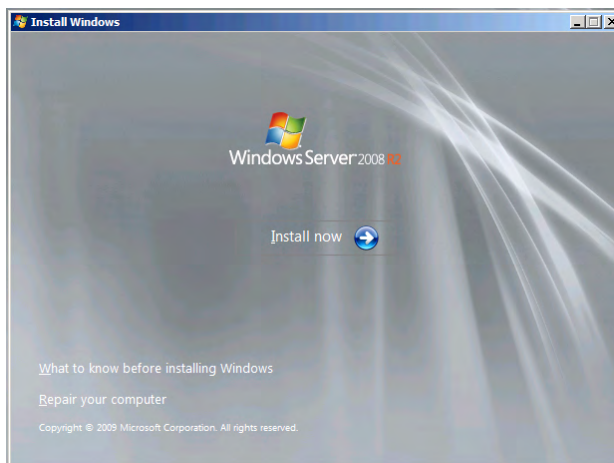


### [In the case of Windows Server 2012]

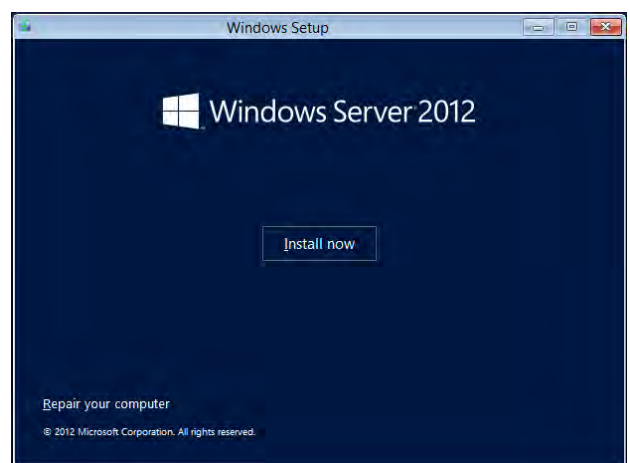


3. The first window of the installation process opens.  
Disconnect the DVD-ROM Drive and the server, and connect them again.

**[In the case of Windows Server 2008 R2]**



**[In the case of Windows Server 2012]**



4. Do the installation process from the beginning again.

---

## Notes on using Windows Server 2008

---

There is a description in the maintenance guide that an event log caused by the power management of the server is logged to the event viewer. (\*1)

In the maintenance guide, only "Event ID: 7" is described, but there is a case that "Event ID: 37" is logged. Both event logs are caused by the power management, and this working is normal.

(\*1) Please refer to "2. Convenient Features" "3. Power Control Feature" "3.1. Notes on Using Windows Server 2008".

## Notes on using Red Hat Enterprise Linux 6

### About the message caused by power consumption control in Red Hat Enterprise Linux 6

The following messages may be logged to "syslog", but these do not indicate that failures have occurred in the server. These messages indicate that the power consumption of a CPU blade has reached the upper limit value for ceiling control. The power consumption in the entire system is controlled by the EM card installed in the blade enclosure, and the EM card controls the upper limit values of the CPU blades for ceiling control dynamically according to the power consumption of each CPU blade.

When the power consumption of a CPU blade has reached the upper limit value, the value is changed automatically by optimally allocating the power across the CPU blades, therefore, there will be no impact in the operation.

Please refer to the user's guide of the EM card for setting the power consumption control on the EM card.

#### ■ Sample Message 1

```
kernel: CPU6: Core power limit notification (total events = 196670)
kernel: CPU21: Package power limit notification (total events = 196453)
kernel: CPU17: Core power limit normal
kernel: CPU23: Package power limit normal
mcelog: Processor 3 below trip temperature. Throttling disabled
```

These messages will be logged as many times as the number of logical CPU.

#### ■ Sample Message 2

```
[Hardware Error]: Machine check events logged
```

You can distinguish between the messages for failures and for power capping by checking the Machine Check Events (MCE) logs (in /var/log/mcelog).

If a message that is similar to the following and that contains "THERMAL EVENT" is repeatedly logged in 8 lines in /var/log/mcelog at around the time (within 5 minutes) when the message containing "Hardware Error" is logged in /var/log/messages, the "Hardware Error" is logged by the OS when the OS receives a request to perform the power cutting operation, which does not indicate an failure in the server.

Ex.)

```
MCE 0
CPU 23 THERMAL EVENT TSC 3559f8b98fe2
TIME 1331221119 Fri Mar 9 00:38:39 2012
Processor 23 below trip temperature. Throttling disabled
STATUS 40000000882e0800 MCGSTATUS 0
MCGCAP 1000c14 APICID f SOCKETID 0
CPUID Vendor Intel Family 6 Model 45
Hardware event. This is not a software error.
```

It's possible to be to change the power control mode of this product to "Static mode" from "Dynamic mode" of default and reduce the output frequency of the message.

The power control mode is established in the EM card.

#### ■ In the case of SIGMABLADE-M(N8405-016F/016AF/016BF)

Refer to the section of "Using Command Line Console Feature" — "Command Reference" — "srvpwrmode" of in the User's Guide of the EM card.

#### ■ In the case of SIGMABLADE-Hv2(N8405-040F/040AF)

Refer to the section of "Using Command Line Console Feature" — "Command Specification" — "CPU blade management commands" — "Setting power control mode of CPU blade" and "Displaying power control mode of CPU blade" of in the User's Guide of the EM card.



# Notes on using Use of Internal Hard Disk Drives in the RAID System

When using Chinese edition document, please refer to below.

## 1. RAID系统中内置硬盘驱动器的使用

本节对RAID系统中服务器前部HDD盒中的硬盘驱动器的使用进行了说明。

重要

- 如果您要在RAID系统中使用硬盘驱动器或者更改RAID级别, 请对硬盘驱动器进行初始化。如果硬盘驱动器包含有价值的数据 请务必确保在安装RAID控制器和配置RAID系统前对硬盘进行备份
- 在构建RAID系统时,请勿将模式更改为休眠。.

注意

在RAID系统中, 请为每个磁盘阵列使用具有相同规格(容量,回转速度以及标准)的 硬盘驱动器。

提示

- 即使只有一块物理设备也能够创建逻辑盘。
- 理解每个RAID控制器的特性, 诸如可用的RAID级别, 或者硬盘驱动器和选择一个合适的 RAID控制器。
- 除RAID0之外的逻辑盘, 其可用容量都比逻辑盘中硬盘驱动器总容量要小, 然而磁盘可靠性提升了。

您可以通过使用板载RAID控制器(LSI Embedded MegaRAID™)来设置RAID系统。

要使用该RAID系统, 需要在服务器上安装两块硬盘驱动器。关于安装硬盘驱动器的详细步骤, 请参考《用户指南》的第2章 (硬盘 (HDD) / 固态硬盘 (SSD))。

### 1.1 启用RAID系统

您可以将安装的多块硬盘用作一个硬盘或者一个RAID系统。

要将安装的硬盘驱动器设置为一个RAID系统, 请从BIOS Setup菜单中选择 **Advanced, PCI Configuration** 以及**Onboard SCSI**然后将**Option ROM Scan**设置为**Enabled**。(关于详细内容, 请参考《维护指南》中 第2章 (1. 系统BIOS详情)”。)

提示

在出厂设置时, 硬盘驱动器被设置为用作RAID系统。

### 1.2 设置RAID系统的注意事项

当您设置RAID系统时, 请注意以下要点。

- 需要的硬盘驱动器的数量随RAID级别不同而变化。

RAID 级别	设置RAID系统所需的硬盘驱动器的数量	
	最小	最大
RAID 0	1	1
RAID 1	2	2

- 建议您安装相同机型号码的硬盘驱动器。
  - 如果您想在RAID系统上安装OS, 使用EXPRESSBUILDER可以使您轻松完成从RAID配置到OS安装的所有过程。如果您想手动安装OS, 请使用RAID系统配置实用程序 (WebBIOS)。该实用程序可以在服务器启动后立刻开始的POST过程中运行。
- 关于配置一个逻辑盘的详细过程, 请参考《维护手册》的第2章 (4. RAID系统配置)。

重要

当您建立RAID系统时, 请勿将模式更改为休眠。